

科目名	社会福祉特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	家族が抱える生活問題と家族支援	講義	
担当者	植戸 貴子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 家族が抱える多様な生活問題(貧困・虐待・DV・社会的孤立など)の実態を理解し、問題発生メカニズムを読み解き、問題解決に向けた家族支援の方策を多角的・総合的に見出せるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 今日、わが国において注目されている「家族が抱える多様な生活問題」の現状を理解し、生活問題の発生メカニズムを「家族システム」の視点から読み解き、「家族の生活問題」を「社会の問題」と結びつけて考察できるようになることを目指す。その上で、ソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)として、ケアワーカー(介護福祉士)として、家族の生活問題の解決に向けて、ミクロレベル(家族に対する直接的な働きかけ)、メソレベル(家族と関わる支援機関や支援ネットワークに対する働きかけ)、マクロレベル(地域社会や行政に対する働きかけ)といった多元的なアプローチで支援する方策について学ぶ。さらに、「家族とは何か」「家族を支援するとはどういうことか」についても考察する。授業では、家族の生活問題をよりリアルに理解できるよう、新聞記事・DVD・手記なども教材として活用する。毎回の授業では、担当教員のソーシャルワーカーとしての実践経験、地域における家族支援経験、行政の福祉施策への参画経験などを活かして、具体的な事例などを紹介しながら、多様な生活問題を多面的に考察できるよう授業を展開する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度の主体的な学修を行うこと。具体的には、家族が直面する生活問題に関心を持ち、専門書・新聞記事・ニュース・テレビ番組・映画・小説・エッセイなど、幅広いツールを活用し、また家族・友人など身近な人たちとの普段の交流を通して、家族の生活問題への理解を深めるよう心がけること。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 「家族」とは何か: 家族観の基礎的理解 3. 家族心理学の基礎的理解 4. 家族のライフサイクルの基礎的理解 5. 家族が抱える生活問題: 貧困・経済格差 6. 家族が抱える生活問題: 虐待(児童・高齢者・障害者) 7. 家族が抱える生活問題: 暴力(DV・家族間暴力など) 8. 家族が抱える生活問題: 介護負担(二重介護・老々介護・老障介護・ヤングケアラー・介護殺人など) 9. 家族が抱える生活問題: 引きこもり・社会的孤立(8050問題・孤独死など) 10. 家族に対する支援: 家族カウンセリング 11. 家族に対する支援: 家族会・家族教室・ソーシャルサポートネットワーク 12. 家族に対する支援: 家族支援のための施策・制度 13. まとめ</p>			

科目名	社会福祉特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	家族が抱える生活問題と家族支援	講義	
担当者	植戸 貴子		
<p>[成績評価方法] レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業への取り組み及び振り返りへの評価はその場で、翌週の授業で、最終回の授業でフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉1-1/多様な福祉課題を客観的に読み解き、その解決法を見出すために必要な社会福祉の専門的な知識を備えている。 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉2-1/家庭・地域社会・職場などで発生する多様な福祉課題に気づき、それをクリティカルに読み解くために求められる思考力を有している。 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉2-2/多様な福祉課題の解決に向けて、人々の日常生活や社会生活を、福祉の視点で捉えるのみならず、人々の文化的背景も大切にしながら、包括的にマネジメントするために必要な判断力と実践力を有している。 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉2-3/福祉・保健・医療・教育・心理などの専門職から当事者・地域住民まで、幅広い機関・団体や人びととの信頼関係を築き、豊かなコミュニケーションを図るために必要な共感性と表現力を備えている。 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉3-1/家庭・地域社会・職場において一市民としての自覚を持ち、また社会福祉専門職としての使命感を持って、社会に貢献していくための主体性を備えている。 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉3-2/現代社会における人びとのダイバーシティ(多様性)を尊重し、すべての人を等しく大切にできる柔軟で寛容な姿勢を有している。 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉3-3/誰もが等しく大切にされる公正な社会を築くために、異なる背景や価値観をもつ人びとも対等かつ民主的な関係性(パートナーシップ)を形成し、協働していく力を有している。 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート(60%)・授業への取り組み及び振り返り(40%)で評価。</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 必要に応じて資料をManabaに掲示</p>			